

# つくしだより

第15号

(2017年11月)



社会福祉法人 有田つくし福祉会 発行

TEL 0737-64-1866 FAX 0737-64-1867

## 第三回

# 運動会

九月二十四日、第三回有田つくし福祉会の運動会が湯浅スポーツセンターで開催されました。

今年もたくさんの方々の利用者や家族・関係者の方々に参加して頂き、赤・黄・青の三チームに分かれて楽しみました。

準備体操、つくし愛唱歌に始まり、午前中の種目はケーキ取り競争や玉入れ、綱引きです。

ケーキ取りではみんな必死でケーキを取ろうと頑張っていました。玉入れでは、一つでも多くの玉を入れようと、カゴに向けて一所懸命投げている姿が見えました。綱引きでは、みんなが力いっぱい綱を引っ張り、接戦を繰り広げました。

競技の合間で応援合戦もしました。各チームで打ち合わせや声を出す練習をし、楽器や大きな声で盛り上げました。



午後の種目に移る前にスペシャルゲストとして耐久高校の吹奏楽部の皆さんが来て、演奏をしてくださいました。昨年ヒットした「恋」など、利用者が知っている曲を選んで頂き、とても楽しそうに演奏を聞いたり、リズムに乗って手拍子をしたりして満足そうでした。

午後の種目の最初は、みんながわっしょい（玉だし）をしました。新聞紙を丸めて相手の陣地にたくさん玉をいれなければならぬため、みんな必死に玉を投げていました。この競技は短時間ですがとても体力を使うので、終わるとみんなへとへの様子でした。そして最後の種目は、今年初めてとなる三色リレーです。

各チームでタスキを渡してゴールを目指すのですが途中でじゃんけんをして勝たないと進めません。速く走ってもじゃんけんが苦戦しているチームもあれば、じゃんけんが強くてスムーズにすすめているチームもあり、最後まで各チーム必死で応援し、ゴールを目指しました。

運動会が終わって、『次回のスペシャルゲストが楽しみ。』『三色リレーを初めてやったがとても盛り上がりつつ楽しかった。』『新たな種目もしてみたい。』などの声があり、次回の参考にしていきたいと思えます。

今年もたくさんの方々に参加していただき、ありがとうございました。



青チーム



黄チーム



赤チーム

## ふれあい夏祭り

八月六日(日)、第二十九回ふれあい夏祭りが広川町民体育館で開催され、今年も参加しました。お天気にも恵まれ多くの出店や舞台発表で盛り上がりました。

つくし共同作業所からはパン、せんべい、さをり販売、さをり織り体験、早月農園からは採れたて野菜、手作りのジャムなどを販売しました。保護者会ではミニバザーを行いました。たくさんのお客様が来てくれ、大盛況でした。

舞台発表ではつくしから二名が出演し、日本舞踊を披露しました。早月農園からは一名出演して「虹」の歌を披露し、とても上手にみんなの前で歌っていました。ダンスサークル『ひま和りの会』のよさこいは、つくしから三名が出演し、キレイのダンスを披露しました。最後の沖縄エイサーでは、みんなでパーランクーと言う楽器を持って演奏したのですが、とても楽しく笑顔が弾け一番の盛り上がりを見せました。今年も楽しいふれあい夏祭りになりました。



## 表彰されました！

平成二十九年十月十一日、「平成二十九年 和歌山県社会福祉功労者表彰式」が和歌山ビッグ愛にて行われ、当福祉会の西林久子理事長と長尾正子理事が表彰されました。

二人は、「有田に障がい者の働く場がほしい」との声を受け、平成元年、地域の方をはじめ多くの方々の協力をいただき、「作業所を作る会」を立ち上げ、翌年には当法人の原点である日曜作業所を開所しました。その後、社会福祉法人「有田つくし福祉会」を設立、「つくし共同作業所」の開設など三十年近く障がい福祉の向上のために取り組んできた活動が称えられたものです。

西林理事長は法人代表としてグループホームやカフェ&ベーカリーオーリーブや早月農園の開設と、障がい者支援事業を展開してきています。また、永年教員として特別支援教育に携わり、退職後もボランティアの方々とともにパンの訪問販売などを通して直接、地域の人たちや利用者とのふれあいを大切に福祉活動に励んでいます。

長尾理事は「つくし共同作業所」の初代

施設長を経て、現在は「有田地域生活支援センターつくし」の所長として、相談活動に従事するとともに、湯浅町障がい児者父母の会会長や和歌山県知的障がい者相談員等を永年務め福祉の向上と啓発に貢献しています。



この度はおめでとうございます

## 「地域における公益的活動モデル事業」に選ばれました！

改正社会福祉法施行を機に和歌山県社会福祉協議会を主体にして「制度の狭間にある福祉課題・

生活課題解決への協働プロジェクト」がスタートし、当福祉会も参画しています。



プロジェクトの一環として行われる表題モデル事業について、当福祉会の取り組み『高齢者家庭への昼食弁当無料提供事業（早月農園）』が選ばれました。この取り組みについては五月発行のつくしだより十三号に掲載しています。

今年度の活動においては既に地域の高齢者の方に変喜んでいただいていますので、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。



## 早月農園ニュース

### 【みかんの収穫・販売】



秋も深まりミカンの収穫や出荷準備で忙しい季節となってきました。

早月農園では、収穫してきたみかんを一つ一つ手に取りキズなどが無いか確かめて選別をしています。少しでも皆さんに美味しいみかんをお届けしたいと思ひ皆で丁寧に袋入れをしています。

仕事の合間のホッと一息、休憩時間にはみかんを食べて元気を出しています。

今年も甘い美味しいミカンが出来ました。是非皆様にもご賞味いただければと思います。ご贈答用に各地へ配送も承っています。ご注文は早月まで！お待ちしております。



早月農園完熟有田みかん秀品

三三〇〇円（送料別途）

### 【早月ボウリング大会】

八月十七日（木）御坊のロマンシティでボウリング大会を開催しました。

昼食は、好きなお店をそれぞれに選びました。メニューを見て、どれもおいしそうなので選ぶのに時間がかかっていました。あつあつの料理を食べ、「おいしい」と何度も笑顔がでていました。

ボウリング大会では、利用者、職員が個人戦で行いました。ストライクが出るとみんなでハイタッチをして、盛り上がりました。白熱した試合の中、優勝は嶋田開斗さんでした。景品は、水筒やタオルなどがあり、みんなとても笑顔で喜んでいました。とても楽しい一日になりました。



ラーメンが美味しかった。ボウリングで初めて、景品もラえてうれしかった。

### 【防災訓練（試食も体験）】

九月一日（金）、防災の日に早月農園では防災訓練を行いました。今回は『非常食体験』も実施し、常備してあった非常食を昼食時にみんなで食べる体験をしました。

お湯または水で簡単に作れる五目御飯をみんなで食べ、災害時の事をイメージしたり、五目御飯の感想などを話し合いました。

その後園長から実際に避難した時や、数十年前にあった近隣の水害、実際自分が住んでいるエリアの避難場所の確認、防災グッズや他の非常食などの話を聞き、有意義な防災訓練となりました。

その後消火訓練、園外までの避難訓練では、みんな落ち着いて確認し合いながら行動する事が出来ました。



常備していた非常食で作った料理

# オリーフニユース

晩秋の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。十月七日(土)に開催したオリーフ秋祭りですが、おかげさまで大盛況の中終える事が出来ました。ありがとうございました。ご来店いただきました皆様には深くお礼申し上げます。

来年の秋祭りもぜひともよろしくお願い致します。今回のつくしだよりではその秋祭りの様子を少しですが載せさせていただきます。



※お店の方にも秋の新作パンがぞくぞくと出ています。ご来店の際、お待ち申し上げます



**輪投げ、スーパーボールすくい、野菜、焼き鳥・おでん・唐揚げなどの販売で賑わいました！**

# つくし共同作業所ニユース

## 【B型作業班の仕事】

B型では主に、パンの訪問販売、下請け作業、アルミ缶や米袋などのリサイクル、せんべい作りの作業をしています。

下請けでは、日用品として使うトイレブラシやゴミ箱、スポンジの袋入れやラベル貼りなどそれぞれ担当に分かれて作業を行います。

リサイクルでは、アルミ缶を綺麗に洗って産廃業者に持っていきます。米袋は使用した袋のしわを伸ばして次も使えるように綺麗な袋にします。

せんべいは、しらす・みかん・しょう油の三種の味があり、焼いたり袋に入れたりしています。できたせんべいを持って「ありだつこ」など近くのお店に納品にも行きます。

B型作業班は、それぞれ担当に分かれてみんなで協力してがんばっています。



## つくし大バザー 無念の中止!

### まんのう町を援へよう感謝!

恒例のつくし大バザー。今年は十月二十二日(日)湯浅町総合センターで開催予定でしたが、超大型台風二十一号接近のため残念ながら中止。しかし、温かい支援に感謝することもありました。経過報告です。

十月二十二日のバザー開催は、一年前に決定し準備を進めていました。そこへ、突然の衆議院選挙実施。会場の湯浅町総合センターも投票所となるため、場所の変更か、日程変更もやむなしと思われました。しかし、投票会場は一階であり、バザーは二階のみの使用ということ、総合センターの方で選挙管理委員会に了解を取ってくださり、バザー会場として使用可能となりました。センター職員のご配慮に心より感謝致しました。

その後、バザー立て看板の設置、新聞のチラシ折り込み、各種団体への物品提供呼びかけ、FMマザーシップを通じた宣伝とバザー準備は、一気に進みました。おかげでバザー用物品は、地域の多くの皆様や後援を頂いた各種団体様から続々と届き、変わらぬ温かい支援の心を強く感じました。後は、前日の値段付けを無事行い、バザー当日を迎えるばかり。

ところが、そこにやってきたのが超大型台風

二十一号。台風の規模が余りに大きく、バザー前日の早朝には開催困難の判断をせざるを得ない状況となりました。

バザー前日の仕事は、物品仕分けと値段付けです。ボランティアの方々、つくし後援会役員、利用者家族、職員が続々集まってきました。その中で、バザー主催であるつくし後援会会長と相談の上、バザーは中止せざるを得ないこと。その上で、60人余りの集まった人員で、来年のバザー用に値段付けをする、期限のあるものや食品については一週間後の愛あいまつりで販売する、生もの、すでに焼き上がったしまったパン等については、本日来られているみんなで買い取っていただくという内容で提案、だれも意義がなく、むしろ良い判断だという声も出て満場一致で決定となりました。

早速、値段付けと仕分け開始。バザープロフェッショナルの技が冴えます。バザープロの三要件は?一つ目は目利きの良さ。二つ目は手際の良さ。最後三つ目は、チームを盛り上げる楽しい会話。今年も、多くのバザーのプロが各コーナーで大活躍です。心より感謝しました。

来年のつくし大バザーは、今年の物品もブラスされるので、欲しい物がどっさりのまさに大バザーになると思います。今年残念だった分までバザーを楽しんで頂こうと有田つくし福祉会後援会と職員で話し合っています。



昨年のバザーの様子

\*後援会より\*

### 後援会費納入のお願い

平素よりつくし福祉会の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。今年度も皆様の一層のご支援ご協力をお願いいたします。後援会費の納入がお済みでない方は、納入をよろしくお願いいたします。

(年会費 一口千円 何口でも)